

製品名: AQP3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07071**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	AQP3
別名	AQP3; Aquaporin-3; AQP-3; Aquaglyceroporin-3
遺伝子 ID	360.0
SwissProt ID	Q92482
免疫原	抗血清はヒト AQP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 165-214

背景

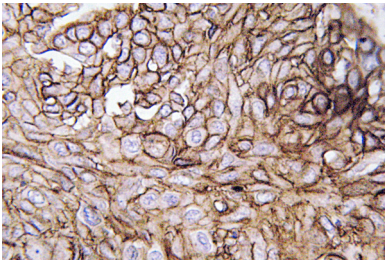
この遺伝子は、水チャネルタンパク質であるアクアポリン 3 をコードします。アクアポリンは、アクアポリン 0 としても知られる主要な内在タンパク質に関連する、小型の膜貫通タンパク質ファミリーです。アクアポリン 3 は、腎臓の集合管細胞の基底膜に局在し

ます。水チャンネルとしての機能に加えて、アクアポリン 3 は尿素やグリセロールなどの非イオン性の小分子溶質の輸送を促進することが分かっていますが、その程度は比較的小さいです。水チャンネルは機能的に不均一であり、水と溶質の透過機構を有する可能性が示唆されています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 12 月],ドメイン: アクアポリンは、それぞれ 3 つの膜貫通ドメインと、Asn-Pro-Ala (NPA) を特徴とする細孔形成ループを含む 2 つのタンDEMリピートで構成されています。機能: 腎髄質集合管に高い水透過性を提供する水特異的チャンネルを形成し、それによって水が浸透圧勾配の方向に移動できるようにします。集合管細胞における抗利尿作用において、水と尿素の排出機構として機能する可能性があります。また、尿素とグリセロールに対してわずかに透過性があります。消化管の水輸送とグリセロール代謝において重要な役割を果たす可能性があります。、オンライン情報: 血液型抗原遺伝子変異データベース,多型: AQP3 は GIL 血液型システムを担っています。アイソフォーム 2 は、機能的な AQP3 を欠損した GIL 陰性個体で検出されます。、類似性: MIP/アクアポリン (TC 1.A.8) ファミリーに属します。細胞内局在: 腎臓の集合管。組織特異性: 腎臓 (集合管) および気道の上皮細胞、ケラチノサイト、未熟樹状細胞、および赤血球に広く発現しています。アイソフォーム 2 は、赤血球ではタンパク質レベルでは検出されません。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における AQP3 抗体の免疫組織化学分析。